

# 論壇

## オンライン授業の拡大

コロナ危機は私たちの社会を大きく変えようとしている。教育の現場もその例外ではないというところを、この欄でも何度か申し上げてきた。その中でも、オンライン授業の利用の拡大が、旧来の教室での授業を破壊する可能性についても述べた。オンライン授業であれば、どの大学の講義にもアクセスできる。自分たちの大学の授業を取らなくても、日本で最も評価の高い授業を受けてみたい。そう考える学生が増えてもおかしくない。

伊藤 元重

学習院大教授(国際経済学)

「日本でもっとも評判の高い授業」とは何かということについては議論の余地があるが、何らかの意図で評判のよい授業に学生が集まるのだ。それだけ、評判の芳しくない授業には学生が集まらないことになる。結果的に大学がフルセットで授業を提供するという現

## 旧来教育見直しの必要性

在のスタイルは維持が難しくなるかもしれない。

こんなことを日々感じていたのだが、先日、高校の現場の方々の話を聞いて、世の中はもっと先に行っていると感じた。私がお話を聞いたのは高校の経営者の方々が、全国系列のオンライン授業を展開している予備校系の授業の

ことに話が及んだ。厳しい競争にさらされている予備校業界であるので、そこで提供される授業は非常に質が高いようだ。学校での授業が分りにくいと感じている生徒でも、この通信映像の授業はほんとうに分かりやすいと感じるよう

## 揺らぐ学校の存在意義

勉学意欲のある生徒は、夜や週末にこの通信教材を熱心利用する。それに応じて学力も向上するのだろう。その結果、学校での授業がつまらなくなるようだ。授業に集中できない。通信教材で深夜まで勉強していて、昼間の授業中に居眠りもできるかもしれない。それを見て、先生が怒る。「も

と授業に集中するように」と言うのかもしれない。しかし生徒の立場に立てば、もっとよい授業が受けられるのに、なぜこんなに分りにくい授業を聞かなくてはいけないのか、ということになる。これは難しい問題を提起している。確かにつまらない授業を聞かされるといふ生徒の不満も分かる。しかし、生徒の多くが通信映像の授業に頼りすぎるようでは、そもそも学校の存在意義がなくなってしまう。多くの生徒が集まって活動することの意義も大きいからだ。そもそも高校生が受験に受かるためだけに勉強する結果として通信教育に走るといふことな

\*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。無断転載、複製を禁じます。